

提案型協働事業報告書 (活動支援交付金)

団 体 名	武豊町防災ボランティアの会
1 該当する町の施策方針	「22のめざすべきまちの姿」 災害への備えや日常生活の安全が確保されているまち 「61の施策方針」 災害に強いまちにする
2 解決へ向けて取り組んだ地域課題	災害に強いまちづくりをするには、防災意識の高い人づくりが大切である。それには子供の頃より、災害への意識を高め、自助・共助を認識して、自然災害に対する意識の向上となる防災減災学習や防災実践訓練を継続する必要があります。
3 協働対象部署	学校教育課(小・中学校)・子育て支援課(保育園) ・防災交通課 ・企画政策課と社会福祉協議会
4 事業の内容等 (1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業PRの方法 (5) その他	取組み名称：保育園・小中学校の防災減災学習と防災実践訓練 取組み期間：平成27年4月1日から平成28年2月28日 (1)①学校教育課と協働：防災・減災学習と防災イベント開催 〈武小3年・衣小4年・富貴小5年・3校で実施出来た〉 ②子育て支援課と協働：防災紙芝居と避難・煙体験訓練、 〈10保育園全て年間計画通り実施出来た〉 ③防災交通課と協働：防災ガイドブック活用防災教室〈緑丘小〉 〈3年生4組の校外マップ作りと防災学習と発表会〉 ④小中学校保育園、防災・減災新規パネル提供が出来た。 〈防災ガイドブックのパネルを製作展示配布〉 〈富貴中・武中の防災実践教室と福祉防災教室を開催〉 (2)小中学校、保育園、学校区訓練会場、学校区自主防災倉庫 (3)小中学校生、保育園児、教職員 〈小学校3・4・5年生、中学3年生、武高生〉実施出来た。 (4)行政各部課及び小中校と保育園に案内、CCNC報道や新聞等 (5)保護者も参加して、子供たちを通して防災啓発が出来た。
5 事業実施により得られた効果	・防災学習は、園児児童生徒など、基礎教育に合わせて継続的に学習や訓練をすることで、事業実施の効果が高まり、防災意識の高い子供達になっている。中学校の防災実践訓練は、共助意識が醸成され、ボランティア活動等地域貢献も見聞きする。防災知識を学ぶ場に保護者を巻き込む事で、より効果が得られた。
6 次年度以降の事業展開	防災意識の高いジュニア世代を生み出し、自らが考え行動できる、防災力の高い人材養成をしたい。中学生の防災活動が、地域貢献と地域デビューの機会にするには、防災・減災の学びの場として、様々な事業展開を継続して行きたい。
7 その他	・県立ですが、武高の1年生全員の防災実践教室も継続的に実施して、共助意識の高い地元高校生に成る事を期待したい。

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。